

腐食促進試験の基本モデル

STP-100 塩水噴霧試験機

CAP-100 キヤス試験機

STP-100 温度 35±1℃ 噴霧液 5%中性塩水	CAP-100 温度 50±1℃ 噴霧液 キヤス液	試験片枚数 72 枚 (寸法150×70×1mm)
---	---	--



最も代表的な腐食促進試験

塩水噴霧試験は、ISO・IEC・ASTM・JIS・GB(中国国家標準)など世界中の規格に制定されています。防食効果の比較や受入検査・ロット検査など品質管理の用途において、広く用いられています。

ISO 9227:2022 に適合した最新機

最新の国際標準規格にいち早く対応。製品・材料の品質管理や受入検査に活躍します。

均一な噴霧・温度分布と安定した塩濃度・pH

新温度制御方式「Dual Heating System®」(PAT)の採用により均一な温度・噴霧分布、安定した塩濃度・pHを実現しました。空気遮断ボードにより溶液タンク内の溶液の塩濃度・pHの変動を抑えます。

メンテナンスがしやすい構造

溶液タンク・空気飽和器を右側面に集約して、溶液補給・清掃などの作業性を向上しました。



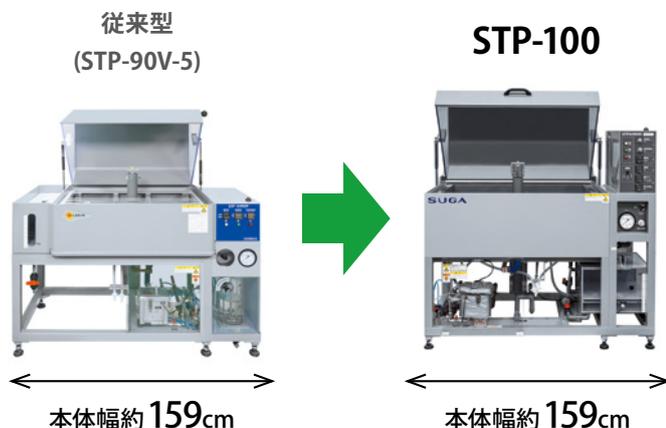
溶液タンク・空気飽和器

国際計量標準とのトレーサビリティを確立

噴霧圧力計・試験槽温度センサー・空気飽和器温度センサーはISO/IEC 17025※1適合の校正および校正証明書の発行ができます。

大量の試験片をまとめて設置

試験片枚数は72枚(寸法150×70×1mm)。STP-100は従来機(STP-90V-6)と比較して8枚多く、CAP-100は従来機(CAP-90V-6)と比較して12枚多く設置できます。コンパクトサイズなので、従来機(STP-90V-5、CAP-90V-5以前)と同等のスペースに設置できます。



ご要望に応じて様々なオプションをご用意しています

- ・試験片保持角の変更(6°、30°など)
- ・150×70×1mm以外の試験片寸法対応の試料枠
- ・樹脂製ネット試料台(小型試料用)
- ・噴霧塔位置の変更
- ・噴霧採取容器位置の変更
- ・運転時間の設定機能
- ・噴霧・噴霧停止の設定機能
- ・空気飽和器自動給水

●上記以外のオプションを多数ご用意していますので別途ご相談ください。

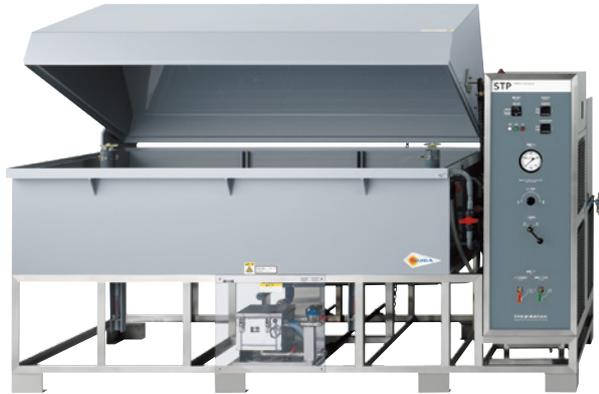
●試験片枚数は試験片間左右の間隔を3mmにした場合の枚数です。●「Dual Heating System®」はスガ試験機(株)の登録商標です。
 ※1 ISO/IEC 17025: General requirements for the competence of testing and calibration laboratories (JIS Q 7025 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項)

STP-120 塩水噴霧試験機

STP-160 / STP-200

CAP-120 キャス試験機

CAP-160 / CAP-200



STP-200

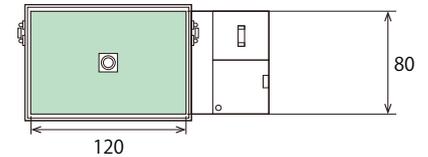
多量の試験片も、大型の部品もまとめて試験できる 大型モデル

大型の試験槽で、多量の試験片を一度に試験できます。
オプションの床耐荷重仕様により、重量物・大型部品・組立品や
完成品をそのまま試験することもできます。

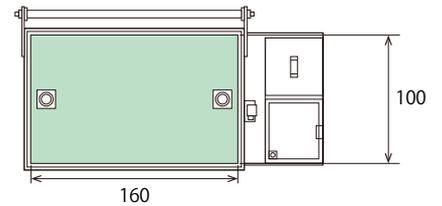
試験片枚数
(寸法150×70×1mm)

試験槽寸法
(平面図、単位: cm)

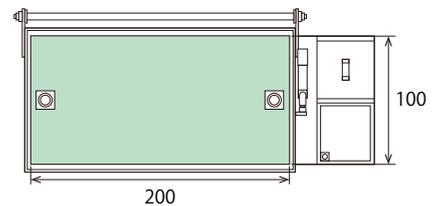
STP-120
(CAP-120)
104枚



STP-160
(CAP-160)
224枚



STP-200
(CAP-200)
272枚



STP-90VR 塩水噴霧試験機

CAP-90VR キャス試験機

試験片枚数

72枚
(寸法150×70×1mm)

試料回転 (PAT.)

1/4 rph
(一時停止、反転機構付)



更に試験結果の精度を追求した 試料回転機構 (PAT.)

試料回転機構 (PAT.) により、試験片を固定して試験槽内に配置する試験機よりも、試験片の設置場所による試験結果への影響を更に低減しています。
45°回転毎に一時停止 (4時間で1回転)、1回転毎に回転方向が反転します。

STP-30 塩水噴霧試験機

試験片枚数

15枚
(寸法150×70×1mm)



ISO・JIS に準拠した卓上で使える 塩水噴霧試験機 (PAT.・登録意匠)

小型モデルでありながら、pHの変動を抑える空気遮断ボードを搭載し、噴霧室方式により規格に準拠した試験が可能です。少量の試験片や部品などの小さな試料の試験に最適です。特別な設置工事は不要※2で、100Vのコンセントに繋がればどこでも使用できます。



●試験片枚数は試験片間左右の間隔を3mmにした場合の枚数です。●試験槽寸法は試験片を設置できる範囲を示すものではありません。
※2 本体および排気処理装置(オプション)の各排水用にプラスチック容器が必要です。

品名		塩水噴霧試験機・キヤス試験機						塩水噴霧試験機	
型式		STP-100	CAP-100	STP-120 CAP-120	STP-160 CAP-160	STP-200 CAP-200	STP-90VR CAP-90VR	STP-30	
外観		 STP-100		 STP-200					
試験項目	塩水噴霧試験 (中性5%塩水)	○	—	○ STP-120	○ STP-160	○ STP-200	○ STP-90VR	○	
	キヤス試験(キヤス液)	—	○	○ CAP-120	○ CAP-160	○ CAP-200	○ CAP-90VR	—	
	乾燥試験	—	—	—	—	—	—	—	
	湿潤試験	—	—	—	—	—	—	—	
	浸漬試験	—	—	—	—	—	—	—	
	外気導入試験	—	—	—	—	—	—	—	
	低温試験	—	—	—	—	—	—	—	
	湿潤高湿	—	—	—	—	—	—	—	
温湿度範囲	塩水噴霧試験	温度	35±1℃	50±1℃	塩水:35±1℃ キヤス:50±1℃	塩水:35±1℃ キヤス:50±1℃	塩水:35±1℃ キヤス:50±1℃	塩水:35±1℃ キヤス:50±1℃	35±1℃
	乾燥試験	温度	—	—	—	—	—	—	—
		湿度	—	—	—	—	—	—	—
	湿潤試験	温度	—	—	—	—	—	—	—
		湿度	—	—	—	—	—	—	—
	浸漬試験	温度	—	—	—	—	—	—	—
		浸漬水位	—	—	—	—	—	—	—
	外気導入試験	—	—	—	—	—	—	—	—
	低温試験	温度	—	—	—	—	—	—	—
	湿潤高湿	温度	—	—	—	—	—	—	—
湿度		—	—	—	—	—	—	—	
試験片	枚数 (試験片寸法)	72枚 (150×70×1mm)	72枚 (150×70×1mm)	104枚 (150×70×1mm)	224枚 (150×70×1mm)	272枚 (150×70×1mm)	72枚 (150×70×1mm)	15枚 (150×70×1mm)	
	取付角度 (垂直に対して)	15°又は20°	15°又は20°	15°又は20°	15°又は20°	15°又は20°	15°又は20°	20°	
試験槽寸法	幅×奥行×高さ	約100×60×40cm	約100×60×40cm	約120×80×50cm	約160×100×50cm	約200×100×50cm	約99×99×50cm	約30×30×30cm	
試料枠	耐荷重 (回転数)	7kgf	7kgf	11kgf	20kgf	25kgf	6kgf (約1/4rph、一時停止、反転機構付)	3kgf	
電源容量	50Hz/60Hz 漏電遮断器(ELB)	3相200V 約8A ELB :10A	3相200V 約8A ELB :10A	3相200V 約21A ELB :30A	3相200V 約22A ELB :30A	3相200V 約22A ELB :30A	3相200V 約10A ELB :15A	単相100V 約13A ELB(保護プラグ):15A	
所要水量	本体関係	水道水	—	—	—	—	—	約13L (間接加熱槽用) ^{※1}	
	湿度発生機	純水	約0.6L/h	約0.6L/h	約1.3L/h	約1.3L/h	約1.3L/h	約0.6L/h	
	冷凍機	クーリング タワー水	—	—	—	—	—	—	
本体寸法	幅×奥行×高さ (配管含む寸法)	約159×95×144cm [蓋開時高さ170cm]	約159×95×144cm [蓋開時高さ170cm]	約199×104×160cm [蓋開時高さ185cm]	約240×128×171cm [蓋開時高さ201cm]	約280×128×171cm [蓋開時高さ201cm]	約147×134×166cm [蓋開時高さ193cm]	約49×57×71cm [蓋開時高さ96cm]	
	運転質量	約230kg	約230kg	塩水:約360kg キヤス:約370kg	約450kg	約550kg	約300kg	約60kg ^{※2}	

●仕様は改善・改良のため予告なく変更することがあります。●本カタログに記載の性能は150×70×1mmの試験片を試験枠に全て取付けた時の数値で表しています。適切な試験片枚数や配置でなければ均一な試験結果が得られません。また、試験機の設置場所の条件は、JIS Z 8703(試験場所の標準状態)の温度23±5℃、湿度65±10%rhです。●RT:室温(Room Temperature)●STP型-CAP型-CYP型の試験片枚数は左右隣り合う試験片同士の間隔を3mmにした場合の枚数です。●試験槽寸法は試験片を設置できる範囲を示すものではありません。
 ※1 使用する水道水は定期的な交換が必要です。※2 空気飽和器ユニット(約10kg)を含めた運転質量です。

湿潤試験機		複合サイクル試験機				
CT-3	CT-3H	CYP-90	CYP-120	CYP-160	CYP-200	CYP-100R
						
—	—	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—
—	—	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—
—	—	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—
—	—	○	○	○	○	○
—	—	35±1°C, 50±1°C	35±1°C, 50±1°C	35±1°C, 50±1°C	35±1°C, 50±1°C	35±1°C, 50±1°C
—	—	(RT+10)~70±1°C	(RT+10)~70±1°C	(RT+10)~70±1°C	(RT+10)~70±1°C	(RT+10)~70±1°C
—	—	25±5%rh (槽内温度60°C時)	25±5%rh (槽内温度60°C時)	25±5%rh (槽内温度60°C時)	25±5%rh (槽内温度60°C時)	25±5%rh (槽内温度60°C時)
49±1°C	49±1°C 80±1°C	(RT+10)~50±1°C	(RT+10)~60±1°C	(RT+10)~60±1°C	(RT+10)~60±1°C	(RT+10)~70±1°C
95%rh以上 (槽内温度49°C時)	95%rh以上 (槽内温度49,80°C時)	60~95±5%rh (槽内温度50°C時)	60~95±5%rh (槽内温度50°C時)	60~95±5%rh (槽内温度50°C時)	60~95±5%rh (槽内温度50°C時)	60~95±5%rh (槽内温度50°C時)
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	温湿度制御無し	温湿度制御無し	温湿度制御無し	温湿度制御無し	温湿度制御無し
—	—	—	—	—	—	—
—	—	50±1°C	50±1°C	50±1°C	50±1°C	50±1°C
—	—	95%rh以上	95%rh以上	95%rh以上	95%rh以上	95%rh以上
36枚 (80×60mm, 100×50mm)	36枚 (80×60mm, 100×50mm)	58枚 (150×70×1mm)	104枚 (150×70×1mm)	224枚 (150×70×1mm)	272枚 (150×70×1mm)	80枚 (150×70×1mm)
—	—	15°又は20°	15°又は20°	15°又は20°	15°又は20°	15°又は20°
約71×71×73cm	約71×71×73cm	約90×60×50cm	約120×80×50cm	約160×100×50cm ^{※3}	約200×100×50cm ^{※3}	約109×109×50cm
5kgf (約1/3rpm)	5kgf (約1/3rpm)	6kgf	11kgf	20kgf	25kgf	11kgf (約1rph、一時停止、反転機構付)
単相100V 約23A ELB :30A	単相100V 約35A ELB :40A	3相200V 約16A ELB :20A	3相200V 約37A ELB :50A	3相200V 約42A ELB :50A	3相200V 約42A ELB :50A	3相200V 約39A ELB :50A
—	—	約0.7m³/day	約1.0m³/day	約1.2m³/day	約1.2m³/day	約1.2m³/day
約1.3L/h	約1.3L/h (49°C試験時) 約6L/h (80°C試験時)	約0.6L/h	約1.8L/h	約2.6L/h	約2.6L/h	約1.8L/h
—	—	—	—	—	—	—
約101×89×153cm [蓋開時高さ171cm]	約116×97×157cm [蓋開時高さ173cm]	約183×101×148cm [蓋開時高さ173cm]	約230×108×190cm [蓋開時高さ191cm]	約270×128×190cm [蓋開時高さ207cm]	約310×128×190cm [蓋開時高さ207cm]	約163×183×183cm [蓋開時高さ241cm]
約200kg	約280kg	約250kg	約650kg	約750kg	約850kg	約550kg

※3 試験槽高さ100cmの「CYP-160D型」「CYP-200D型」があります。

本カタログに記載の仕様は改善・改良のため予告なく変更する場合があります。本体の付属品・オプション品については、最新の仕様書をご確認ください。
本カタログに記載の試験規格はカタログ制作当時のものです。また、試験規格内の全ての試験条件に対応することを示すものではありません。試験規格は定期的に見直し・改正されますので、最新の規格内容をご確認ください。



スガ試験機株式会社 Suga Test Instruments Co.,Ltd.

www.suga-global.com
www.sugatest.co.jp

本社	〒 160-0022	東京都 新宿区 新宿 5-4-14	tel 03-3354-5241	fax 03-3354-5275
光研究所	〒 160-0022	東京都 新宿区 新宿 6-10-2	tel 03-6867-0810	fax 03-6867-0811
日高・川越工場	〒 350-1213	埼玉県 日高市 高萩 1973-1	tel 042-985-1661	fax 042-989-6626
名古屋支店	〒 465-0051	名古屋市 名東区 社が丘 1-605	tel 052-701-8375	fax 052-701-8513
大阪支店	〒 564-0053	大阪府 吹田市 江の木町 3-23	tel 06-6386-2691	fax 06-6386-5156
広島支店	〒 733-0033	広島市 西区 観音本町 2-12-11	tel 082-296-1501	fax 082-296-1503